

仙台高専なとりライブラリーカフェの開催

岡崎久美子^{*1}, 武田 光博^{*2}, 奥村 真彦^{*3}, 野角 光治^{*4},
吉野 裕貴^{*5}, 宮崎 義久^{*6}, 谷垣 美保^{*7}, 山木 幸一^{*8},
加藤 文樹^{*8}, 尾田 陽子^{*8}, 遊佐 梨江^{*8}

Implementation of Library Café at College Library of NIT Sendai, Natori

Kumiko OKAZAKI, Mitsuhiro TAKEDA, Masahiko OKUMURA, Mitsuharu NOGAKU,
Yuki YOSHINO, Yoshihisa MIYAZAKI, Miho TANIGAKI, Koichi YAMAKI, Fumiki KATO,
Yoko ODA, and Rie YUSA

This paper presents consideration of the implementation of the first and second Sendai Kosen Natori Library Café (Library Café at Natori campus library of National Institute of Technology, Sendai College). The events were held by Natori Campus library committee members on October 29–30, 2016. Two professors at our college were invited to café meetings as lecturers to share their ideas related to academic thinking through the introduction of several books that they recommended to the students and community. Based on results of a confidential questionnaire issued to all participants we would like to review the present trial for the implementation of better events of this kind in the future.

KEYWORDS : book introduction, lecture, community, public relations

1. 本論の趣旨

本論は、仙台高等専門学校（以下、仙台高専）名取キャンパス図書館が実施した仙台高専なとりライブラリーカフェについて考察するものである。名取キャンパス図書委員会は、図書館利用活性化の試みのひとつとして、平成28年10月に第1回及び第2回の仙台高専なとりライブラリーカフェを実施した。初の企画に、両日で学内外から約70人の参加者を得た。本論は開催の経緯と運営の実際について概観し、次年度以降のよりよい開催のあり方を検討するものである。

2. ライブラリーカフェの概要

2. 1 全体概要と実施計画

ライブラリーカフェを初めて開催するにあたり、図書委員会はまず全体概要を教員会議に提案し、それにもとづき第1回・第2回を計画・実施した。

ライブラリーカフェ全体概要

名称：仙台高専なとりライブラリーカフェ

概要：学内外の識者を招き、魅力的な本の紹介と講演会をシリーズで実施する

目的：広い分野の知見を高める。学生の図書館利用を促進する。地域市民の図書館利用を促進する。

*1 専攻科生産システムデザイン工学専攻 (Advanced Course of Production System and Design Engineering)

*2 マテリアル環境工学科 (Dept. of Materials and Environmental Engineering)

*3 機械システム工学科 (Dept. of Mechanical Engineering)

*4 電気システム工学科 (Dept. of Electrical Engineering)

*5 建築デザイン学科 (Dept. of Architectural Design)

*6 総合科学系文科 (Liberal Arts, Humanities)

*7 総合科学系理数科 (Liberal Arts, Science and Mathematics)

*8 総務課 (General Affairs Division)

対象：本校学生・教職員，及び地域市民

テーマ：学生・教職員の専門の学びを深めるもの，
学生の視野を広げるもの（芸術，人文社会科学等），
地域市民の関心に沿うもの（復興，地域開発など）
など

講師に依頼する内容：本を数冊，コメントつきで紹介していただき，本の紹介を含む講演をしていただく

留意点：事前広報を行い，学内に加え，地域の市民にも楽しんでもらえるようにする

学生・一般市民に興味を持ってもらえる内容・方法となるよう工夫する

第1回・第2回実施計画

日時：第1回 平成28年10月29日（土）（仙台高専 高専祭第1日目） 11:00～12:00（講演，質疑等を含む）

第2回 同年10月30日（日）（仙台高専 高専祭第2日目）開催時間は第1回に同じ

場所：仙台高専名取キャンパス図書館 1階グループ学習エリア

講師：第1回 内海 康雄先生（本校副校長）

第2回 坂口 大洋先生（本校建築デザイン学科長）

付記：紹介本と関連資料の事前・事後展示
講演録画の公開



図1 ライブラリーカフェの様子

2.2 主な準備

本項においては，ライブラリーカフェの実施上の課題とそれに対応するために行った準備について概観する。

ライブラリーカフェは企画自体が新規の企画であ

ったため，本校で初めてと思われる点をいくつか含んでいた。第一に，この行事は，学内の学生と教職員に加え，地域市民に参加を呼びかけ，人数が定まらない形で参加者を受け入れる形態をとった点が挙げられる。第二は，市民を対象に含む行事を一委員会が開催する点である。第三は，カフェ^{註1)}というインフォーマルな講演会の形態と，複数の本の紹介を含めるという講演の枠組みへの挑戦である。

計画と準備においては，これらに対応するために，関係部署と打ち合わせ，共通理解を得られるよう努めた。委員会では原案を協議し，それに基づく修正案をさらに協議するという過程を半年にわたって積み重ねた。

第一に挙げた，学内外から多くの聴衆を受け入れる点に関しては，広報の形態や規模の決定，および参加者数の想定が難しく，具体的な計画は手探りの状態から開始せざるを得なかった。広報の範囲は名取市および近隣の市や町とし，各種準備は大人数の場合など多様な状況を予想しながら進めることとなった。

第二の点に対応するためには，外部に働きかける活動を行う際には学内の関係部署と連絡を取り，発信元や外部対応窓口などを決定することとした。

第三の点への対応としては，講師の計画を委員が理解し，その実現を支援することに努めた。

次に，本企画実施のための具体的な事前準備のうち，学内外の広報に焦点を当てて概観する。これは上記の第一の点に主に関係するものである。講師・学内関係事務部との事前調整や会場の準備など，平日の学生対象の学内講演会で行う準備に加えて，今回は以下の広報活動を学内外に向けて行った。

- (1) 図書館のウェブサイト以案内と参加申込フォームを掲載した。本校高専祭案内ホームページに上記サイトへのリンクをはることを学内の担当者に依頼した。
- (2) ポスター（図2）の掲示とちらしの配布を事前と当日に学内外で行った。
- (3) 名取市の広報誌『広報なとり』以案内記事を掲載した。
- (4) ライブラリーカフェの実施1ヶ月前から当日まで，講演で紹介される本を図書館玄関ホールに展示した（図3）。
- (5) 当日は看板による案内，呼びこみを行った。

項目 (2) のポスターとちらしは学内で用いると

ともに、学外配布用にはそれぞれ約 100 枚用意し、高専祭実行委員会の協力を得て名取市他の駅、名取市図書館、商店街などに事前に掲示・配布した。当日には、高専祭実行委員会の協力を得て、会場に設置される高専祭総合受付にちらし 500 枚を用意した。

項目 (3) の広報誌については、本校の所在地である名取市に問い合わせ、『広報なとり』10 月 1 日号に案内記事を掲載した。掲載号や事前受付期間については市と相談し、市内で開催されている他の行事の案内などを参考に決定した。記事には図書館の利用案内情報を含めている。当該号は 9 月下旬に名取市内の約 32,000 世帯に配布された。



図2 ライブラリーカフェのポスター

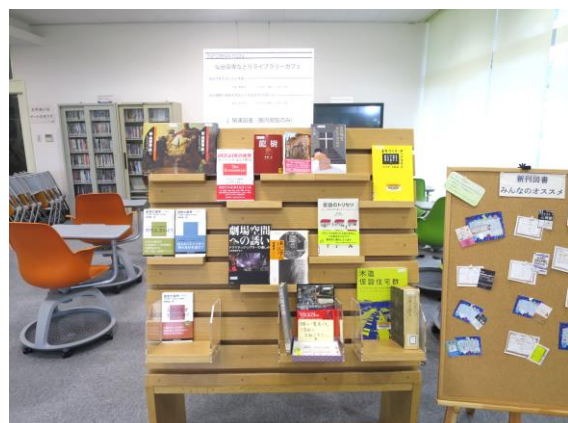


図3 図書館玄関ホールにおける紹介本の展示

なお、このたびの行事開催のための経費は、通常の名取キャンパス図書館の予算から支出している。必要となる電子機器・備品などは、今回は学内における借用ですべて調達し、消耗品などは名取キャンパス図書館長経費により購入した^{注2)}。ポスターや垂れ幕のデザイン、印刷や配布は委員や事務が担当し、配布には高専祭実行委員会の協力も得られた。学校側より補助の話をいただいたが、今後長期にわたり継続実施していくことを視野に入れ、通常予算で対応できる仕組みづくりを目指した。

2. 3 実施の状況

学外からの事前申込は数名にとどまり、参加人数の見当は直前まで難しい状況であったが、参加者は両日で 70 名を越えた。当初の予定スペースを越えて通路や玄関のゲートのすぐ前まで椅子を置いて対応した。

当日の受付では参加者に以下のものを配付した。

- (1) 「仙台高専なとりライブラリーカフェ 概要」
- (2) 講演ハンドアウト 第1回「自分で考えることと未来」 第2回「街と建築と復興を語るとっておきの10冊+α」
- (3) 「第1回仙台高専なとりライブラリーカフェ アンケート」「第2回仙台高専なとりライブラリーカフェ アンケート」(記入用バインダーと鉛筆を添えて)
- (4) 名取キャンパス図書館利用案内リーフレット
- (5) お茶のペットボトル
- (6) 資料用封筒

項目 (1) の「概要」は講師名、講演内容の紹介、紹介本の一覧、ライブラリーカフェ終了後の図書館ツアーの案内などを記したものである。これらに加えて、市図書館や関連イベントに関するパンフレットを名取市図書館から事前に預かっておいて受付デスクに配置し、希望者が受け取れるようにした(図4)。



図4 ライブラリーカフェ会場受付

講演は主催者側の依頼を超える内容を含み、また、講演後には質疑応答や講師からの読書方法のアドバイスがあり、参加者から高い評価を得た。以下 2.4 にアンケート結果の概要を示す。

また、今回は、ライブラリーカフェ案内パネルの製作や講演中のグラフィック・ファシリテーション (図5) などにおける学生の活躍が目を引いた。



図5 学生によるグラフィック・ファシリテーション

ライブラリーカフェの終了後は、参加できなかった学生などへの波及効果を期待し、以下のような試みを行っている。

図書館には特設コーナーに照会本を配架し、当日の講演資料を受け取れるようにしている (図6)。このコーナーからは常に複数冊の本が借り出されている状況が続いている。なお、講演の録画も参加者の個人情報保護に配慮の上、公開する計画である。来館者は、本に関連する録画を見て、すぐその場で紹介されている本を手にとることができるようになる。

また、図書館ウェブサイトや『仙台高専だより』第4号 (平成29年3月発行) でも今回の試みを紹介

している。



図6 紹介本と資料の事後展示

2. 4 参加者アンケート^{注3)}の結果

各回の終了後に参加者アンケートを実施した。アンケート結果の概要は以下の通りである。回収率は約84%である。

1. カフェに参加していかがでしたか。

とてもよかった	27
よかった	27
普通	4

2. 開催時期や場所はいかがでしたか。改善した方がよいと思われる項目はくわしくお書きください。

(1) 時期

よい	59
改善してほしい	0

(2) 時間帯

よい	55
改善してほしい	4

第2回の開催時間が、キャンパス内で開催されていた高専祭最大の学生企画イベントと重複しており、記述されたコメント4点はすべてその解消を要望するものであった。

(3) 長さ

よい	57
改善してほしい	2

自由記述は「若干長いかも」というものであった。

(4) 場所

よい	52
改善してほしい	6

コメントは会場の混雑に起因するものが3件、スクリーンの改善を期待するものが1件であった。机がほしいという記述が第1回であったが、2日目に机つき椅子を配置することで対応できた。

(5) その他

コメントは2点あり、講演について(「おもしろかった」)とポスターについて(「よくして」)であった。

3. 今回のカフェを何でお知りになりましたか。

『広報なとり』10/1号	5
仙台高専ホームページ	6
街中・学内のポスター・ちらし	7
高専祭パンフレット内のちらし	14
クチコミ	17
その他	10

その他の内容は、通りすがりと教員会議でというものが各2、その他、高専祭に来て、学内ポスター、先生から、先輩から、入口の呼び込みが各1である。

4. 今後、カフェで取り上げてほしいテーマがありましたら、お書きください。

今後のテーマに対しては多岐にわたる要望があった。理工系4(工学・ものづくり3、数学1)、人文・社会科学系6(名取・宮城3、社会2、講演で言及された歴史上の人物1)、その他6(他の先生や専門3、まんが1、ライブラリーカフェ1、子供と共通の話題になるもの1)であった。

5. 今後のカフェにも参加したいと思いますか。

ぜひ参加したい	19
参加したい	31
どちらともいえない	10
あまり参加したくない	0

6. ご意見、ご感想、ご質問などがありましたら、ご自由にお書きください。

内容ごとにまとめると、講演内の話題への共感・コメント7、よい・おもしろい・興味がわいた6、紹介された本を読みたい3、次回への期待(参加したい)3、その他2(絵のライブについて、保護者にも広報を)であった。

記述例は以下のとおりである。「とても共感しました」「先生が紹介した本をぜひ読みたいです」「未来

はどうなるのか、自分は普段どのように考えて行動しているのか、改めて考えようと思いました。とても楽しくすごすことができました」「内容もすごくよかったです。本と専門の内容がスムーズにつながっていてすごかったです」「絵のライブもすばらしかったです」「自分が考えたこともないことについて言われとても興味がわきました」「高専祭だけでなく、もっとやってほしい」

アンケートの結果には、講演の内容に関しては参加者の大きな満足感が表れているが、開催の形態に関してはさらに改善が可能な点も含まれていると言える。

3. 展望—今後に向けて

図書委員会は、当該行事を他行事と同様に「図書委員会行事記録」により全委員で共有・検討し、引継いでいる。今後の開催計画には上記アンケートの結果や講師の意見を反映させる予定であり、検討すべき主な点は以下の通りである。

第一は、双方向型のライブラリーカフェの実施である。くつろいだ雰囲気醸成をはかり、参加者が発言しやすい形態を検討したい。

第二は広報活動の改善である。事前広報は、目的や、想定する開催規模に合わせ、参加を希望する市民と学生に届くよりよい手段を検討する必要がある。また、図書館における事前展示や事後公開の方法についても新たな工夫を加えていきたい。

第三は開催の時期や場所の再検討である。アンケートの結果は概ね満足できるものであるが、今後は、参加を希望する市民・学生の意向に沿う設定をさらに検討することが必要である。開催についての中・長期的な計画を提示することも効果的であると考えられる。会場は、開催規模や実施形態とともに検討する必要がある。

第四は柔軟な対応の準備である。今年度は結果として混乱はなかったが、インフォーマルな開催形態においては、講演開始後の参加者の来場などの多様な状況や要望に対応できるような準備が必要である。

第五は地域との連携である。名取市図書館などと行事の開催などにおいて協力関係を深めていく計画である。

本ライブラリーカフェは、本の紹介を切り口とすることでこれまでにない魅力を備えた学びの場を提供することができた。工学とそれにかかわる広く深

い話題を親しみやすい形で提供できたと認識している。今後はライブラリーカフェのあり方にさらに検討を加え、この企画を継続・発展させていきたいと考えている。

謝辞

本ライブラリーカフェにおいて講師をお務めいただいた内海康雄先生と坂口大洋先生に心より感謝申し上げます。また、福村裕史校長先生にはこの企画のすべての段階においてお力添えをいただきました。次世代型教育推進室と学生課には機材をお貸しいただき、総務課、管理課と高専祭実行委員会学生委員の協力を得ました。名取市総務課、名取市図書館、地域のみなさまには広報でご協力をいただきました。そしてご参加くださった学生、教職員、地域の方々のおかげでライブラリーカフェを開催することができました。この場を借りてみなさまに心より感謝申し上げます。

参考文献

- 1) 東北大学サイエンスカフェ・リベラルアーツサロン (<http://cafe.tohoku.ac.jp/>)
- 2) 長神風二：サイエンスコミュニケーションと図書館、情報管理, Vol. 51, No. 5, pp. 321-333 (2008)

注記

注1) 高専で開催されているカフェとしては、福井高専の「高専カフェ」、宇部高専の「テクノカフェ」などがある。それぞれ主催は地域連携テクノセンターと企画連携事務室である。

<https://www.fukui-nct.ac.jp/~arc/kosencafe.html> , および <http://www.w2.ube-k.ac.jp/center/technocafe/index.html> を参照。

注2) 今回、講師・参加者・運営用として、ノート型パーソナルコンピュータ2台、プロジェクタ、スクリーン、ポインタ、マイクロホン、ビデオカメラ、メモリ、ホワイトボード5台、大型プリンタ(使用予約)、その他(テーブル、椅子、看板3台、お茶道具など)を教員室、事務室などより借用し、図書館展示用書籍代、資料代、お茶と水のペットボトル代を支出している。なお、必要度が高い、または高専祭などの行事日には借用が難しい場合がある備品から順次購入を進めている。

注3) 資料 アンケート設問 (第1回用)

平成28年10月29日(土)

第1回 仙台高専なとりライブラリーカフェ アンケート

本日は仙台高専なとりライブラリーカフェにご参加くださいましてまことにありがとうございました。

今後の参考とさせていただきますので、以下のアンケートにご協力をお願いいたします。

1. カフェに参加していかがでしたか。
 とてもよかった よかった 普通
 あまりよくなかった よくなかった
 2. 開催時期や場所はいかがでしたか。改善した方がよいと思われる項目はくわしくお書きください。
時 期 よい 改善してほしい ()
時間帯 よい 改善してほしい ()
長 さ よい 改善してほしい ()
場 所 よい 改善してほしい ()
その他 ()
 3. 今回のカフェを何でお知りになりましたか。
 広報なとり 10/1 号
 仙台高専ホームページ
 街中・学内のポスター・ちらし
 高専祭パンフレット内のちらし
 クチコミ
 その他 ()
 4. 今後、カフェで取り上げてほしいテーマがありましたら、お書きください。
 5. 今後のカフェにも参加したいと思いますか？
 ぜひ参加したい 参加したい
 どちらともいえない あまり参加したくない
 参加したくない
 6. ご意見、ご感想、ご質問などがありましたら、ご自由にお書きください。
- ※ よろしければお名前をお書きください。ご案内等を差し上げます。個人情報厳重に管理し、この目的以外に使うことはございません。(本校学生は*のみでかまいません。所属には学年とクラスを書いてください。)
- ご氏名* ()
ご住所 ()
メールアドレス (@)
ご所属* ()
- ご協力ありがとうございました。